

令和5年度事業報告

I 会務報告

1 皇室関係

- (1) 令和4年12月16日に皇嗣職宮務官長あてに発出した第62回全国林業経営推奨行事賞状伝達贈呈式への秋篠宮皇嗣殿下のお成り願いに対しては、4月10日、お成り日を11月2日とする旨連絡があり、10月20日、宮内庁長官あてにご臨席依頼書を発出した。
- (2) 10月16日、賞状伝達贈呈式に先立ち、永田会長が赤坂御所秋篠宮家宮邸において皇嗣殿下に第62回全国林業経営推奨行事受賞者の経営内容についてご進講した（沢田副会長、松本常務同席）。
- (3) 11月2日、千代田区の飯野ビル4階イイノホールにおいて、皇嗣殿下のご臨席を仰ぎ、第62回全国林業経営推奨行事賞状伝達贈呈式を挙行了。当日午後、4年ぶりに秋の園遊会が開催されたため、当初予定していた記念パーティーにはご臨席されず、記念写真撮影後にご退場された。
- (4) 11月7日、赤坂御所秋篠宮家宮邸に永田会長、沢田副会長および松本常務が皇嗣殿下お成りへの御礼記帳に伺った。
- (5) 11月30日、赤坂御所東邸で行われた皇嗣殿下誕生茶会に永田会長、沢田、吉川および沖副会長並びに松本常務の5名が参加した。
- (6) 令和6年11月初旬に挙げる第63回賞状伝達贈呈式への皇嗣殿下のお成りについては、12月8日、宮務官長あてにお成り願いを発出し、3月4日、お成り日の連絡があった。
- (7) 1月10日、赤坂御所秋篠宮家宮邸に永田会長、沢田副会長および松本常務が新春のご記帳に伺った。

2 会議の開催

- (1) 5月11日、港区の航空会館で第1回理事会を開催し、「令和4年度事業報告および決算に関する件」「定時総会提出議案に関する件」「参与の委嘱に関する件」および「新規会員の承認に関する件」の4議案を審議して原案どおり承認された。次に、「業務執行理事の職務執行状況」その他について報告した。
- (2) 5月30日、飯野ビル4階カンファレンスルームで定時総会を開催したところ、会場出席した41名に議決権行使書提出者226名および委任状提出者234名を加えると、同日現在の会員総数769名の過半数を占める501名の出席があり、「令和4年度事業報告および決算に関する件」並びに「役員を選任に関する件」の2議案を審議して原案どおり承認された。次に、「令

和5年度事業計画および予算に関する件」並びに「参与の委嘱に関する件」について報告した。

また、総会終了後、第2回臨時理事会を開催し、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律」上の代表理事である会長並びに同法上の業務執行理事である副会長および常務理事を選出した。

なお、総会に先立ち参与会議を開催し、林業経営「創意工夫」表彰行事で優秀賞を受賞した林野庁の小林正典氏から「シカを効率よく捕獲できる小林式誘引捕獲法」について、宮崎県都城森林組合の志々目道夫氏から「林研グループが森林組合と協働で行うコンテナ苗生産の取組」について話題提供があり、それを踏まえて意見交換を行った。

(3) 3月13日、航空会館で第3回理事会を開催し、「令和6年度事業計画および予算に関する件」「令和6年度定時総会招集等に関する件」および「令和6年度第1回理事会開催に関する件」の3議案を審議して原案どおり承認された。次に、「業務執行理事の職務執行状況」、その他職員の任免、「職場におけるハラスメントの防止に関する規程」および「レクリエーション実施基準」の制定等について報告した。

(4) このほか、8月を除く毎月、常務役員会を開催し、会務運営の重要事項について協議した。

3 会員の関係

令和6年3月31日現在における会員数は、正会員746名、特別会員31名、計777名となっている（令和5年3月31日比で4名の減少）。

4 公益法人関係

(1) 内閣府公益認定等委員会に対し、6月26日に令和4年度事業および決算を報告するとともに、8月10日に役員変更の届け出を行った。

(2) 3月15日、内閣府公益認定等委員会に対し、令和6年度事業計画書および収支予算書を報告した。

II 事業の実施

森林・林業を取り巻く諸情勢を踏まえつつ、1 普及啓発事業、2 調査研究事業、3 山林事業、4 林業文献センター事業の4つの公益事業と収益事業に取り組んだ。

1 普及啓発事業（公一1）

(1) 森林・林業に関する指導、奨励および普及

① 4月5日および3月26日、青山霊園において、日本近代林学の創始者である松野礪（はざま）先生の墓参をし、その業績を顕彰した。

② 5月13日、「みどりの感謝祭」（イイノホール）に永田会長が出席した。

- ③ 6月3日、「第51回全国林業後継者大会」（岩手県盛岡市）に永田会長が出席し、激励の言葉を述べるとともに、翌6月4日、「第73回全国植樹祭」（岩手県陸前高田市）に出席した。
- ④ 8月2日開催の全国乾椎茸品評会表彰式（新宿区ホテルグランドヒル市ヶ谷、日本椎茸農業協同組合連合会主催）に協賛するとともに、来賓として永田会長が出席し、大日本山林会会長賞を授与した。
- ⑤ 11月12日、「第46回全国育樹祭」式典行事（茨城県水戸市）に沢田副会長が出席するとともに、同日、関連行事「2023森林・林業・環境機械展示実演会」（茨城県ひたちなか市）を松本常務等が視察し、出展企業と情報交換を行った。
- ⑥ 1月26日、永田会長が埼玉県知事公邸で開催した本多静六賞選考委員会に選考委員として出席し、2月16日、県庁において知事に選考結果を報告した（5月30日の授賞式に永田会長が出席予定）。
- ⑦ 1月30日、衆議院議長公邸で開催された全国植樹祭特別委員会に永田会長が出席した。
- ⑧ 関係団体等の開催する様々なシンポジウム等に会場出席やオンライン出席で参加し、情報の収集・交換に努めた。
- ⑨ 「緑の募金支援団体」としての募金協力、関係団体への活動支援などを通じ、森林・林業の奨励・普及に努めた。また、2月20日、石川県森林組合連合会へ能登半島地震復興支援金20万円を拠出し、被災地における森林・林業・木材産業の復旧・復興を図るために同会が行う活動を支援した。

(2) 森林・林業に関する講習、研修および講演会の開催

- ① 10月18～20日、「新たな森林経営の展開—多角的な山林経営と地域材の有効利用」を研修課題として静岡県の静岡市、富士市および富士宮市で現地研修会を実施し、地域材を利用した草薙総合運動場このはなアリーナ等の木造施設、天然更新を活用した株式会社白糸植物園や大規模なキャンプ場を運営する株式会社ふもとつばら等の新たな山林経営を見学した。
- ② 3月9日、東京農業大学世田谷キャンパスの百周年記念講堂において一般社団法人日本森林学会主催・本会等共催により第135回日本森林学会大会シンポジウム「楽しい林業、元気のでる林業」が会場参加420名、オンライン参加188名、計608名の参加を得て盛大に開催され、構想段階から本件の企画に関わった本会の永田会長が共催者を代表してあいさつを行った。
- ③ 東京大学の「大学院農学生命科学研究科森林科学専攻林政学研究室」および「アジア生物自然環境研究センター木材利用システム学寄付研究部門」において、永田会長が研究・教育に協力した。
- ④ 東京農業大学において「現代社会と経済」の講義を原参事が実施した。

(3) 海外への林業振興に関する技術援助

- ① 海外の法人会員等に対する会誌『山林』の送付等を通じ、海外への情報提

供に努めた。

- ② 3月24日、大韓民国梨花女子大学の研究者からの本会刊行物「大日本山林會報」掲載写真の転載利用について問い合わせがあり、メールの交換により意思疎通に努め、令和6年4月になって許可する旨回答した。

(4) 森林・林業教育の振興および研究の助成

3月8～10日に東京農業大学世田谷キャンパスで開催された第135回日本森林学会大会の高校生ポスター発表に協賛した。また、10日の表彰式で永田会長があいさつし、最優秀賞等を受賞した高校生を始め参加した高校生を激励するとともに、各発表チームへ記念品として本会発行の「日本の森林と林業—森林学習のための教本—」を1冊ずつ全23冊授与した。

(5) 森林・林業に関する発明、改良の奨励

9月1日から1月31日まで令和5年度林業経営「創意工夫」表彰行事の募集を行い、2月26日、審査委員会を開催して応募のあった2件を審査した結果、次のとおり優秀賞および奨励賞を決定した。

優秀賞 田口 房国（岐阜県）

キャンパーに森林をレンタルする「フォレンタ」

奨励賞 天竜林業研究会（静岡県）

林研グループが協働でF S C森林認証取得

・東京五輪への出材の取組

(6) 森林・林業に関する刊行物の発行

- ① 会誌『山林』を第1667号～第1678号まで発行した。なお、8月を除き年間11回『山林』編集委員会を開催した。
- ⑤ 『平成林業逸史』の刊行に向けて、前年度に引き続き、会誌『山林』に年度を通して毎月「特集 平成林業逸史」を連載した。
- ③ 第62回農林水産祭参加全国林業経営推奨行事受賞者の経営内容を要約した『選ばれた林業経営』を刊行した。
- ④ 『「脱・国産材産地」時代の木材産業』『日本の森林と林業』『昭和林業逸史』をはじめとする既刊本の販売に努めた。

(7) 森林・林業功労者の表彰

- ① 第62回全国林業経営推奨行事については、都道府県から推薦を受けた優良林業経営体について、2度にわたる審査委員会および森林管理局による現地審査（大臣賞候補者のみ）を経て、大臣賞8点、長官賞16点、会長賞4点の計28点を決定した。11月2日、本会総裁秋篠宮皇嗣殿下のご臨席の下、賞状伝達贈呈式を挙行了。皇嗣殿下は、記念写真撮影の前後、永田会長の先導で受賞者一人ひとりに温かいお声掛けをされ、ご退場された。
- ② 12月5日、伊勢神宮崇敬会が実施する農事関係功労者顕彰行事において、本会が推薦した奈良県の岡橋清元（きよちか）参与が林業部門で顕彰さ

れた。また、永田会長が出席し、来賓代表として祝辞を述べた。

2 調査研究事業（公一2）

- (1) 令和4年度林業経済研究所委託調査「森林認証制度が林業労働者の労働安全に与える影響の研究」の報告書を関係者に配付した。
- (2) 令和5年度は、「森林経営管理制度における広域連携の役割：埼玉県秩父地域・長野県木曾郡・愛媛県南予流域を事例に」に関する調査研究を林業経済研究所に委託し、報告書を作成した。

3 山林事業（公一3）

- (1) 2月2日、国有林野施業実施計画の策定にあたり、令和9年度主伐予定の久留里部分林の公売による販売について意向確認があり、2月15日、沢田副会長ほか4名で林内の状況を確認したところ、緩傾斜で道路から入り込みやすく間伐の行き届いた尾根筋には概して良く成長した主伐すべき林木が多い一方、急峻で間伐が行き届かず立木が混み合っている沢筋では主伐するには立木が細いことが判明したが、主伐実施段階での変更は可能であるとのことなので、2月26日に公売による販売を希望する旨回答した。
- (2) 平成26年に立木販売（間伐）を行った古賀志部分林は、翌年の関東東北豪雨による下流民有林の山腹崩壊により搬出林道が不通となり、搬出期間を止めていたが、山腹崩壊地の復旧工事および林道補修が終了したため、立木販売の買受人に林道開通を通知するとともに、搬出期間を再開してその期限を令和7年2月25日までとした旨、3月26日に日光森林管理署より連絡があった。

4 林業文献センター事業（公一4）

- (1) 6月12日、日土地内幸町ビルにおける林業文献センターを開館した。
- (2) 7月27日、林業文献センター運営委員会を開催し、日土地内幸町ビルにおけるセンターの運営状況を視察するとともに、令和4年度の事業報告および令和5年度の事業計画を説明して了承を得た。また、作業部会を立ち上げて文献の重要性を見極めるための仕分け作業を行い、新三会堂ビルに戻ってからのセンターの運営方法を整理することとなった。
- (3) 上記(2)の作業部会を立ち上げて10月から3月にかけて毎月1回のペースで計6回仕分け作業を行い、将来のセンター運営方法を整理するとともに、将来必要となるセンターの面積についても目安を付けた。
- (4) 社会福祉法人日本キリスト教奉仕団東京都板橋福祉工場に委託して「増田文庫」書籍437冊および古文書、写真、地図等の資料14ボックス（約482点）並びに藤村文庫57冊（資料147点）の電子ファイル化を行った。
- (5) 令和6年3月31日現在、「収蔵文献・検索システム」に登録されている

文献数は30,251件となっている。

5 収益事業（収一1）

港区赤坂の土地の共同所有者である公益社団法人大日本農会および一般社団法人大日本水産会とともに、基本財産である同土地を安全かつ有効に活用し、正味財産増減計算書に基本財産賃貸料として計上した基本財産運用益を上げた。